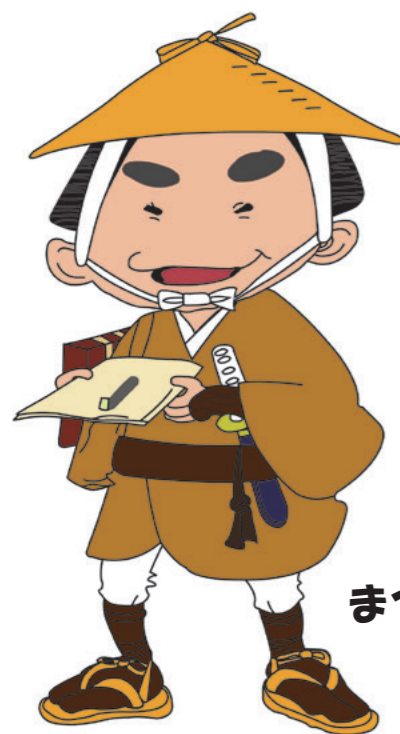
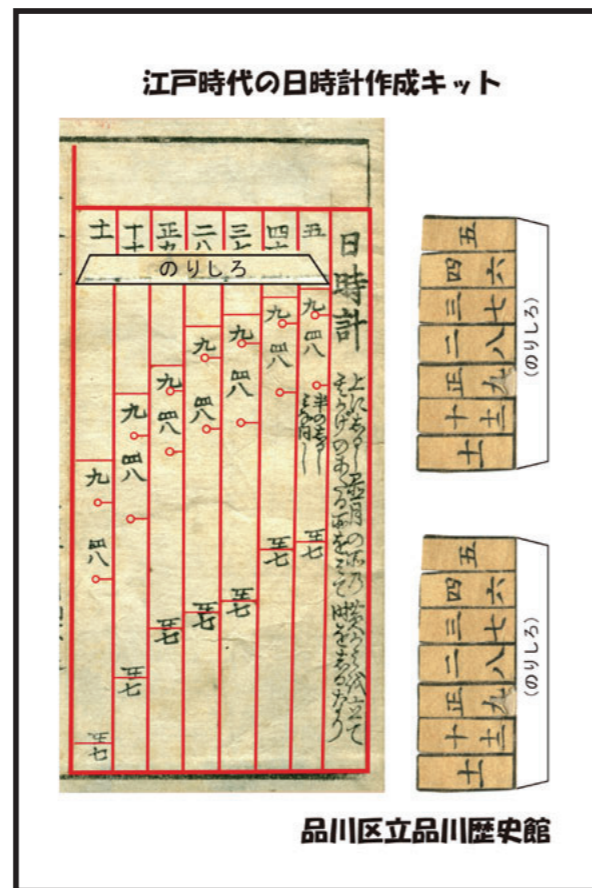


えどじだい ひどけいさくせい  
江戸時代の日時計作成キット



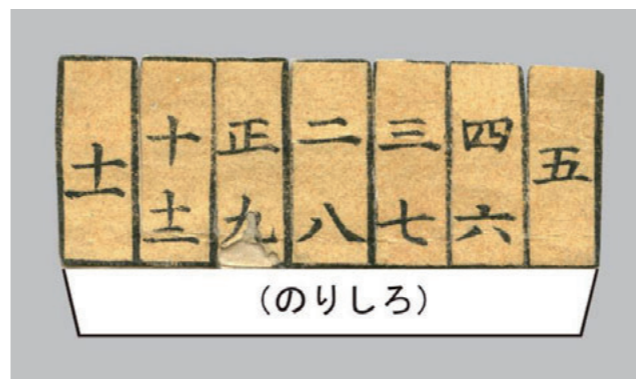
まつきち

品川区立品川歴史館



いっしょに入っているこの紙をつかいます

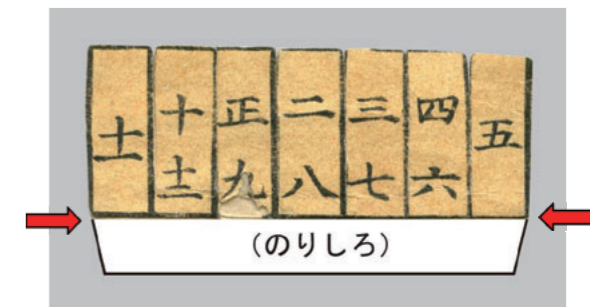
ぶんせい  
文政3年(1820)5月につくられた  
ひどけい  
日時計です。はさみとのりだけで作  
れますよ!



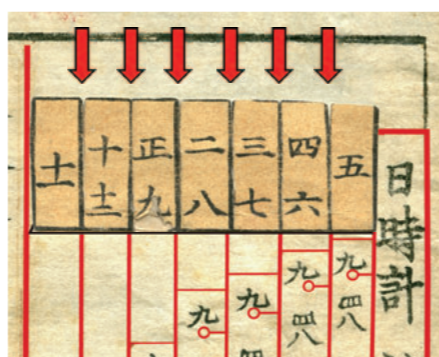
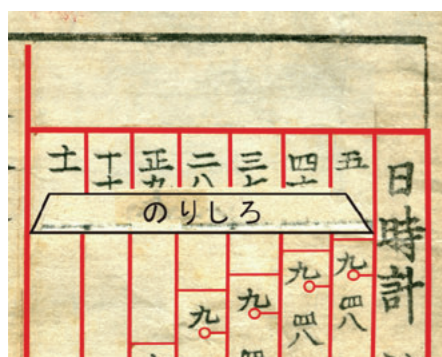
①この紙を黒い線にそって、きれいに切りとります。つかうのは1枚だけです。もう1枚はしっぱいしたらつかってね。



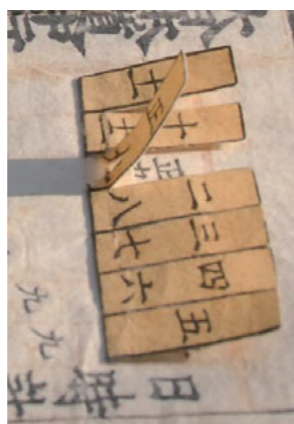
②「のりしろ」のところで山おりします。しっかりおっておきましょう。



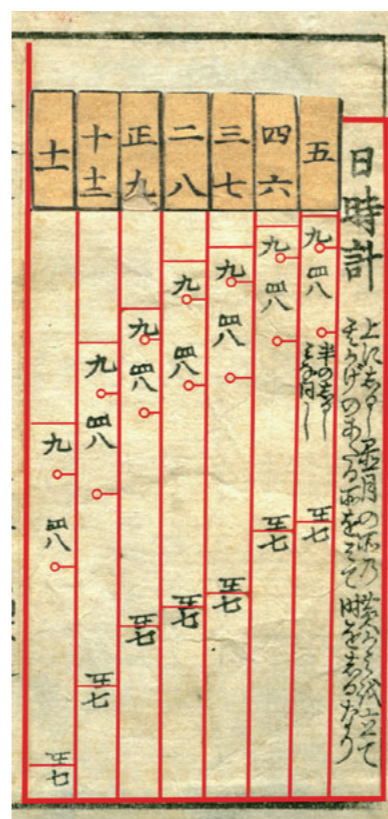
③「のりしろ」に、のりをぬります。黄色い紙にのりがつかないようにしましょう。



⑤はりつけた黄色い紙のうち、月がかかれた6ヶ所を線にそって切ります。

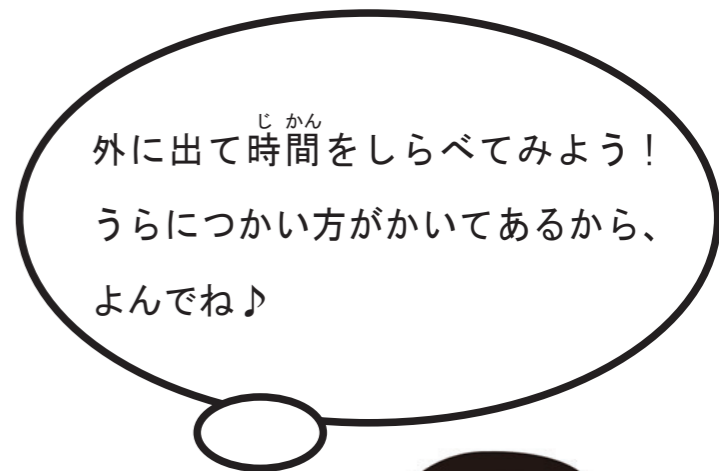


下の線まで切ると、1枚ずつ立てられるようになります。



⑥さいごに、本体をはさみで切りとってかんせいです。おめでとう!!

④本体の「のりしろ」にあわせてはります。このとき、タテの赤い線にもあわせて。ずれないようにしてね。



おしのちゃん

# 日時計のつかい方

①いまの月に対応する月の紙をまっすぐ立てます。

※下の表で江戸時代の月をみてみましょう。

②日時計を水平にもち、太陽に向けます。

③影がのび、いまのおおよその時間がわかります。

※影が赤い線のなかにおさまるようにします。



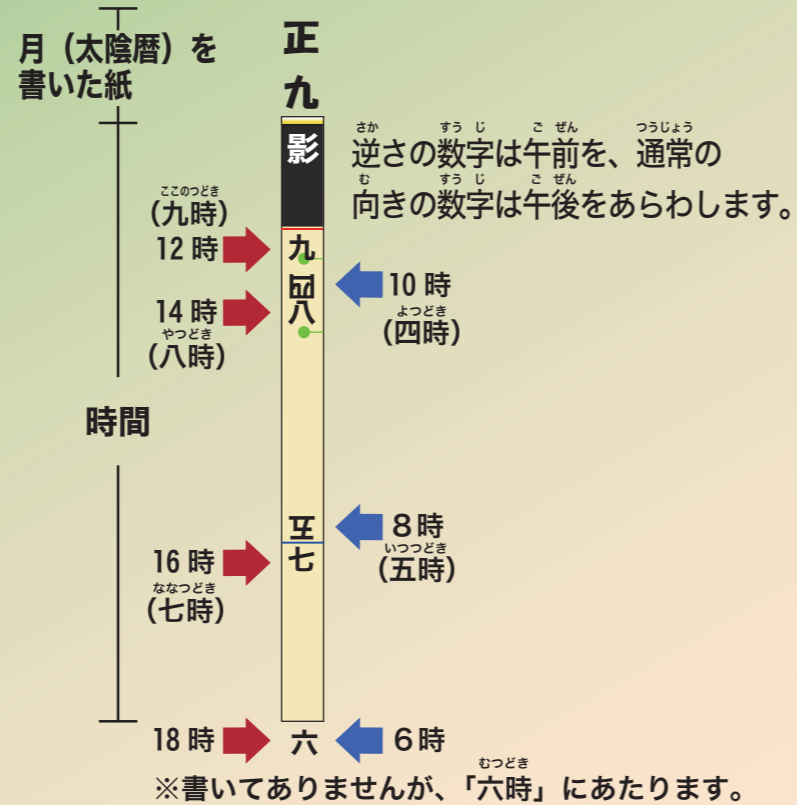
太陽に向ける

月がかかれた黄色い紙を太陽に向けると、影がのびます。

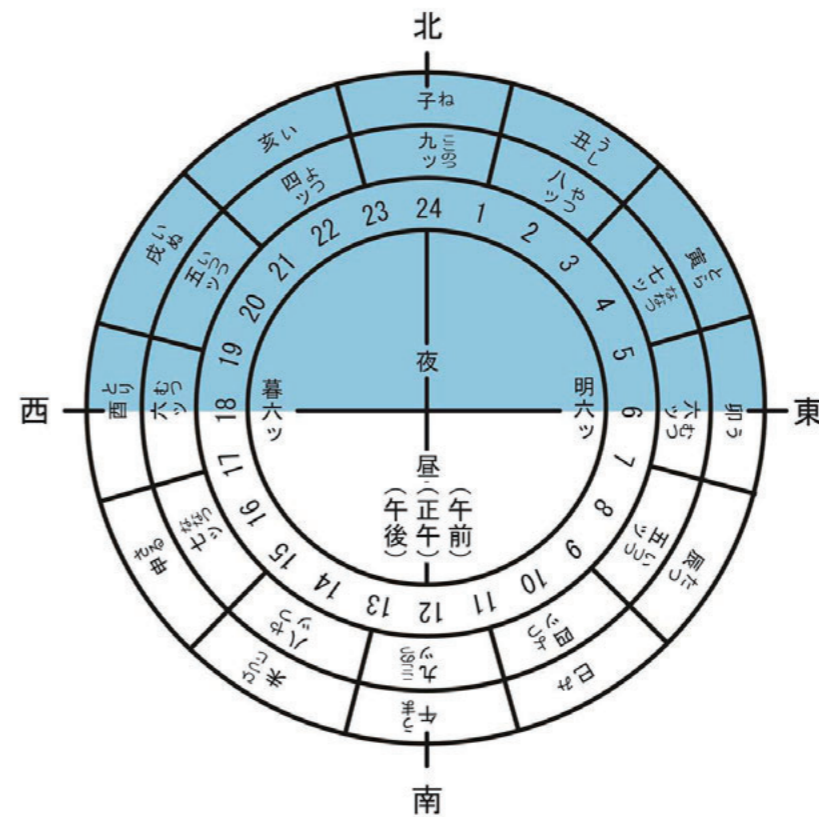
影が「九」まで伸びていると「九時」、つまりいまの12時だとわかります。

月を書いた紙	十一	十二	正九	二八	三七	四六	五	日時計
			影	九	九	九	九	九
	九	八	八	八	八	八	八	八
	八	八	八	八	八	八	八	八
	七	七	七	七	七	七	七	七
	七	七	七	七	七	七	七	七
	七	七	七	七	七	七	七	七

其かかげのあたりに置る所の黄かみを立てり



平成23年1月30日、本物の日時計をつかって歴史館の庭で実験しました。



江戸時代といまつかっている時間を表にしました。一ばん外がわに干支、一つ内がわが江戸時代の時間、もう一つ内がわがいまつかっている時間です。時間を見くらべて日時計をつかってみてね♪

《太陰暦》	五月	→	六月
	四月・六月	→	五月・七月
	三月・七月	→	四月・八月
	二月・八月	→	三月・九月
	正月・九月	→	二月・十月
	十月・十二月	→	十一月・一月
	十一月	→	十二月

江戸時代のこよみ「太陰暦」は、明治時代に「太陽暦」にかわりました。いまは太陽暦です。時間をしらべるまえに、左の表を見ていまの月をかくにんしておきましょう。